

## 意見集約の結果について

- ・ 千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける  
施策の方向性に対する意見のまとめ 1~21 ページ
- ・ 新たな計画のテーマ／サブテーマに対する提案のまとめ 22,23ページ

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 1	菊池 委員	<p>【海辺】</p> <p><b>1：海辺（ビーチエリア）の積極的な魅力発信</b></p> <p>・イベントの開催について、積極的なPRとあるが、これは対市民に向けたということでしょうか？多くのイベントを開催できるように、主催者（運営団体）を誘致するという意味も含めているのか？魅力の発信として、利用者（＝市民）と主催者（＝運営サイド）があり、活用に向けては、双方への魅力の発信が必要に思われる。</p>	
番号 2	菊池 委員	<p>【海辺】</p> <p><b>1：海辺（ビーチエリア）の積極的な魅力発信</b></p> <p><b>2：海辺の魅力を活かしたイベントの充実</b></p> <p>・類似の内容に見える。上記、1（主催者へのPR）のことを示しているのであれば、項目（施策）をまとめ、具体例の部分で書き分けてはどうか？</p>	
番号 3	菊池 委員	<p>【海辺】</p> <p><b>3：旅客船運行の充実</b></p> <p>・具体例の「充実」の意味が分かりにくい。回数を増やすのか、企画の内容を豊かにするのか（歴史・文化系、自然・環境系、ファミリー向け等）を書き分けた方がよいのではないかと。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押田副会長コメント：充実に関しては、観光と絡んで、航路を増やすこと等の検討を。</p> </div>	
番号 4	菊池 委員	<p>【海辺】</p> <p><b>5：自然観察会の実施</b></p> <p>・生物多様性を押し出した表現にした方がよいのではないかと。例えば、「現在実施しているふれあい自然観察会は、身近な自然環境を知ることから、地域の生きものの生活史や多様な生きものとのつながりを学ぶことのできる、生物多様性の理解を深める活動です」というように、「生物多様性」をかみ砕き、何が生物多様性に繋がっているのかを分かりやすく表現した方がよいのではないかと。</p>	

千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 5	菊池 委員	<p>【海辺】</p> <p><b>6：「水辺のいきもの探索隊」の活動推進</b></p> <p>・アーカイブ化が目的のように読めるが、それでよいか？（生物の）生息環境の変化等の把握が目的であれば、語順が逆ではないか？案）活動結果を取りまとめ、アーカイブ化を進めることで、生息環境の変化等が誰でも手軽に（簡単に）把握できるようにします。</p> <div style="border: 1px dashed gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押田副会長コメント：子ども達への情操教育。未来を担う人材育成といった記載の検討を。</p> </div>	
番号 6	菊池 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>9：自然観察会の実施</b></p> <p>・上記、「海辺 5」と同様。場（ここでは、「川」）で実施することの意味・意義がわかるような語を追加した方がよいのではないか。</p>	
番号 7	田所 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>9：自然観察会の実施</b></p> <p><b>13：川辺の魅力向上に資する公共空間再編の検討</b></p> <p>・資料 2 の市民意見の「家族や子どもたちと川遊びができる親水エリア創設も大切」にもあるように、現在の水辺は近付きがたい。家族で自然観察や釣りやガサガサを楽しむように環境整備をしてほしい。</p>	
番号 8	菊池 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>10：「水辺のいきもの探索隊」の活動推進</b></p> <p>・上記、「海辺 6」と同様。アーカイブして終わりだと、誰も見ない（見られない）、活用できない（活用しない）ことになってしまうので、利活用（使うこと）を目的としたアーカイブになることを期待します。</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 9	菊池 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>11：川辺の良さを実感できるアクティビティの充実</b></p> <p>・具体例の中に、「（河川流域をエリアとした）フォトログイニング」を入れてはどうか？フォトログイニング &lt;<a href="https://photorogaining.com/">https://photorogaining.com/</a>&gt;</p>	
番号 10	菊池 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>12：川辺のアメニティ環境の充実</b></p> <p>・自転車利用者、それ以外との競合にならないかが心配。安全の面からも、自転車利用者とそれ以外（散歩、ランニング）とが事故につながらないような交通整理（通行区分分け、明確なサイン表示等）をした方がよいのではないかと？</p>	
番号 11	菊池 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>14：水質保全・地下水保全の推進</b></p> <p>・広域的な調査が必要であれば、夏休みや小学校の理科・生活科の時間を活用した大規模な水質調査の実施（簡易バックテスト）や、理系大学（東邦大学、日大、千葉工業大学等）の学生さんと協力した水質調査などの実施、水質改善に向けたアイデアコンペ（実証実験）の募集、実施なども具体例に入れてはどうか？</p>	
番号 12	田所 委員	<p>【川辺】</p> <p><b>15：多自然川づくりの推進</b></p> <p>・加曽利貝塚公園整備計画には水辺も含まれると聞いている。上記の親水エリアや治水のための遊水域も考慮した多目的計画にしてほしい。</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 13	菊池 委員  相澤 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>18：プレーパーク開催の促進</b></p> <p>（菊池委員）            ・プレーパーク開催の促進とあるが、プレーパークを運営する側の指導・教育、レベルアップ（情報提供）もあわせて、進めた方がよいのではないかと運営組織の数やレベルの向上も必要と考える。</p> <p>（相澤委員）            ・プレーパーク計画の中に入れていただけて嬉しいです。開催促進とありますが、各区公園緑地事務所や都市局の中にはプレーパークをご存知でない方もたくさんいらっしゃるの、年1回くらいは視察に来ていただけるような現実の動きとのリンクが生まれてくれるととっても嬉しいです。</p> <p style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px;">押田副会長コメント：開催の促進よりも、プレーパークを実施できる体制を充実させていく方が重要と思われるので、検討を。</p>	
番号 14	田所 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>18：プレーパーク開催の促進</b>  <b>19：多様な主体による公園管理の推進</b>  <b>20：パークマネジメントの推進</b>  <b>25：エディブルパークに関するルールづくり</b>  <b>29：身近な公園に特色を持たせエリアの公園間での機能分担やシンボルとなる公園のリノベーション</b>  <b>36：すごしたくなる緑と水辺の11拠点の充実</b></p> <p>・公園の管理は可能な限り地域コミュニティに移管し、住民が活用できるベンチやプレーパーク設置等ハードよりソフト重視にすべき。</p>	
番号 15	菊池 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>19：多様な主体による公園管理の推進</b></p> <p>・上記、「18」と同様。物的支援もあるが、質的支援（情報提供、活動の指導や教育、レベルアップ）もあわせて進めた方がよいのではないかと</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 16	菊池 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>20：パークマネジメントの推進</b></p> <p>・上記、「18」同様。パークマネジメントという語の内容を知ってもらい、活動しやすくするために、先進的なパークマネジメント団体の視察や講演、交流などもあわせて進めた方がよいのではないか？</p>	
番号 17	菊池 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>22：社会貢献活動の積極的な受入れ</b></p> <p>・「市の公園運営費用の削減のため」という表現は、生々しいのでない方がよいのではないか？</p>	
番号 18	菊池 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>23：来園者サービスの充実（千葉県動物公園）</b></p> <p>・具体的取り組みに、「SNS等を活用した双方向の情報発信」を加えたらどうか？お客様からの声を受け入れるとともに、SNSという会員（サポーター）への特典などで、リピーターを増やしていく方法も考えられる。また、オンラインショップを開設してはどうか？                  参考：https://www.tokyo-zoo.net/、https://www.north-safari.com/</p>	
番号 19	菊池 委員	<p><b>【公園】</b>  <b>23：来園者サービスの充実（千葉県動物公園）</b>  <b>24：公園利用の促進に向けたデジタル技術の導入の検討</b></p> <p>・類似の内容に見える。上記、23（来園者サービス）のことも示しているのであれば、項目（施策）をまとめ、具体例の部分で書き分けてはどうか？</p>	

千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 20	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>25：エディブルパークに関するルールづくり</b></p> <p>・公園として開設していた部分の土壌に問題はないのか？（作付けに問題のない土壌環境、条件が整っているのか？）</p>	
番号 21	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>28：熱中症リスクの軽減や遮熱ストレスの軽減に資する樹木の育成</b></p> <p>・遮熱ストレス→暑熱ストレス、ではないか？また、「軽減」が重複するので、ひとまとめにする、使用する語を変更するなどした方がよいのではないか？案）熱中症リスクや暑熱ストレスの軽減に資する～。熱中症リスクの低減や暑熱ストレスの軽減に資する～。</p> <p>・事例として、樹木以外にも、壁面緑化（緑のカーテン）や緑化施設を入れてはどうか？&lt;参考&gt; <a href="https://urbanseedback.com/2627">https://urbanseedback.com/2627</a></p> <div style="border: 1px dashed gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押田副会長コメント：東京都内とは状況が異なり、千葉では平面の緑化の方がなじみやすいのではないかと。</p> </div>	
番号 22	相澤 委員	<p>【公園】</p> <p><b>29：身近な公園に特色を持たせエリアの公園間での機能分担やシンボルとなる公園のリノベーション</b></p> <p>・10年前までは市内の公園には個性的な遊具がありましたが、今はどんどんと撤去され、画一的で小さい子向けのものが増えているように感じます。安心安全はとても大切なキーワードですが、それと個性的で魅力のある遊具は共存しないのでしょうか。公園にほしい遊具を、子どもにヒアリングするなどできるといいなと思いました。</p>	
番号 23	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>29：身近な公園に特色を持たせエリアの公園間での機能分担やシンボルとなる公園のリノベーション</b></p> <p><b>30：公園施設の長寿命化・バリアフリー化の戦略的な推進</b></p> <p>・類似の内容に見える。項目（施策）をまとめ、具体例の部分で書き分けてはどうか？</p>	

千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 24	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>31：土地区画整理事業地内での公園用地の整備推進</b></p> <p>・タイトル（施策名）と例が同じなので、何をするのがわかりにくい。</p>	
番号 25	菊池 委員  永野 委員	<p>【公園】</p> <p><b>33：狭小公園の適正化</b></p> <p>（菊池委員）</p> <p>・上記、「29、30」と類似の内容に見える。項目（施策）をまとめ、具体例の部分で書き分けてはどうか？</p> <p>（永野委員）</p> <p>・利用ニーズの本質は利用者数だけでは計れない。小さな公園にしか居場所がない子もいるかもしれない。公園の再編は慎重に行っていただきたいと願う。</p>	
番号 26	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>34：スポンサーベンチ制度（仮称）の検討</b></p> <p>・ベンチだけではなく、植樹（記念植樹）も実施してはどうか？</p> <p>&lt;参考&gt; <a href="https://uji-citypark.jp/pages/90/">https://uji-citypark.jp/pages/90/</a>  <a href="https://www.city.chuo.lg.jp/smph/kankyo/koenzido/ibento/tanzuyokinensyokujyu.html">https://www.city.chuo.lg.jp/smph/kankyo/koenzido/ibento/tanzuyokinensyokujyu.html</a></p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押田副会長コメント：ベンチや樹木を問わず、スポンサー制度の導入には積極的なご検討を。</p> </div>	



千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 27	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>35：雨水浸透・流出抑制機能の向上</b></p> <p>・「フォーメーションの形成」の意味がわからない。また、例として挙げている「透水性舗装」には、課題も多いと聞かすが、そのあたりは問題ないのか（経年劣化による不陸、目地からの雑草繁茂等）。</p>	
番号 28	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>36：すごしたくなる緑と水辺の11拠点の充実</b></p> <p>・「上記、「29、30、33」と類似の内容に見える。項目（施策）をまとめ、具体例の部分で書き分けてはどうか？また、水辺と入っているが「海辺・川辺」ではそのような項目が見られなかった。どこの施策として組み入れるのかの検討とあわせて、調整した方がよいのではないか？</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押田副会長コメント：「海辺」、「川辺」とも関わっていることが分かるようアイコンを用いた表現の工夫を。</p> </div>	
番号 29	菊池 委員	<p>【公園】</p> <p><b>37：千葉県動物公園リスタート構想に基づく展示施設のリニューアルの推進（千葉県動物公園）</b></p> <p>・利用者目線での内容ではなく、飼育している生きものの生育環境の視点からの施設のリニューアルという表現の方が適切ではないか？「動物福祉」や「環境エンリッチメント」を進めることで、利用者も生きものの生き生きとした姿が見られ、展示施設の効率的なリニューアルにもつながると考えられる。＜参考＞  <a href="https://www.sankeibiz.jp/workstyle/news/200802/ecd2008020850001-n1.htm">https://www.sankeibiz.jp/workstyle/news/200802/ecd2008020850001-n1.htm</a>、<a href="https://www.homemate-research-zoo.com/useful/13995_zoo_080/">https://www.homemate-research-zoo.com/useful/13995_zoo_080/</a></p>	
番号 30	菊池 委員	<p>【街路樹】</p> <p><b>38：多様な主体による街路樹管理の推進</b></p> <p>・街路樹管理にも、アダプト制度の導入や管理者のお名前を掲示するなど、取り組まれている方を紹介した方がよいのではないか？</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 31	菊池 委員  松浦 委員	<p>【街路樹】</p> <p>42：雨水浸透機能の向上</p> <p>（菊池委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「透水性舗装」には、課題も多いと聞かすが、そのあたりは問題ないのか（経年劣化による不陸、目地からの雑草繁茂等様。透水性舗装の課題の部分は解決済みなのか？</li> </ul> <p>（松浦委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透水性舗装だけでなく浸透した水が下水道に流出する量を調整する仕組み（アメリカのバイオスウェール・貫通型プランター・透水性ストリップなど）は検討できないか？</li> <li>・透水性舗装の一部で表面が劣化し剥がれている箇所が千葉市内で散見されるため素材の持続性についても考慮して頂きたい。</li> </ul>	
番号 32	菊池 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】</p> <p>43：緑の愛護を通じた地域コミュニティの形成、醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良事例の視察、担当者へのヒアリングなども事例に入れてはどうか？新興住宅地であれば、オープンガーデンなどの取り組みも入れることで、45ともつながりが出るようにした方がよいと考える。</li> </ul>	
番号 33	永野 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】</p> <p>43：緑の愛護を通じた地域コミュニティの形成、醸成</p> <p>【共通事項】</p> <p>84：環境教育の積極的な展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童絵画はぜひ美術館の展示室で。真剣なキュレーションと共に。子どもたちの自然を捉える力と創造性を発見し切り拓く機会にできるのではないかと考える。</li> </ul>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 34	菊池 委員  松浦 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】 45：緑花のお散歩マップの制作検討</p> <p>（菊池委員） ・上記「43」とまとめて、地域ぐるみで緑花の推進を進めるのはどうか？</p> <p>（松浦委員） ・散歩マップには賛成。例えば草野都市下水路沿いには桜並木があり毎年花見の季節には多くの人々が訪れる。千葉市の特徴のひとつとして人工的な水路網が挙げられるがそれらの一部は優良な遊歩道などとして機能しており緑と水辺のまちづくりでもそれらの重要性についてもう少し取り上げられないだろうか？</p>	<p>○ 松浦委員の ご意見を 議論する</p>
番号 35	菊池 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】 46：園芸福祉活動の充実の検討</p> <p>・大学の先生だけではなく、民間企業のワンコインセミナーなども検討されてはどうか？ &lt;参考&gt; <a href="https://www.aromakankyo.or.jp/">https://www.aromakankyo.or.jp/</a>、<a href="https://www.treeoflife.co.jp/school/">https://www.treeoflife.co.jp/school/</a>、 <a href="https://www.yomeishu.co.jp/blog/event/">https://www.yomeishu.co.jp/blog/event/</a>。</p>	
番号 36	菊池 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】 47：レインガーデンの整備促進に向けた取組事例の紹介</p> <p>・一般の方にレインガーデンの導入は難しいと考える。住宅購入やリフォームの際に検討いただけるよう、住宅メーカーを対象とした取組みや雨水利用を広くとらえた活動にした方がよいのではないかと。また、レインガーデンをつくる際に必要となる技術、知見を講習するなど、地元造園・緑化業者や、生産者（植木、植苗）への周知も必要ではないかと。導入のネックとなる費用や資材（特に使用する植物）、管理方法についてもきちんとアドバイス、フォローできる仕組みがないと、一般の方が導入するのはハードルが高いのではないかと。</p>	

千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 37	菊池 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】</p> <p><b>48：住宅、民間・公共施設における緑化の推進</b></p> <p>・取組みイメージは、横浜市&lt;<a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/doro/2017/20170721-036-25766.files/0001_20200817.pdf">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/doro/2017/20170721-036-25766.files/0001_20200817.pdf</a>&gt;ということか？また、ここにグリーンインフラの取組を入れてはどうか（雨水活用だけではなく、暑熱環境の緩和、生物多様性、健康など複合的な効果を明記する）。</p>	
番号 38	菊池 委員	<p>【住宅・民間・公共施設】</p> <p><b>49：都市計画制度等と連携した開発に伴う質の高い緑の創出／地域の緑愛護活動の促進</b></p> <p>・取組みのイメージは、柏市&lt;<a href="https://www.city.kashiwa.lg.jp/kenchikushido/jigyosha/environment/ondanka/casbee.html">https://www.city.kashiwa.lg.jp/kenchikushido/jigyosha/environment/ondanka/casbee.html</a>&gt;、札幌市&lt;<a href="https://www.city.sapporo.jp/kankyo/casbee/">https://www.city.sapporo.jp/kankyo/casbee/</a>&gt;ということか？緑化に限れば、港区&lt;<a href="https://www.city.minato.tokyo.jp/ryokukasuishin/tayousei/ryokka_guide.html">https://www.city.minato.tokyo.jp/ryokukasuishin/tayousei/ryokka_guide.html</a>&gt;もある。</p>	
番号 39	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>50：花の愛護を通じた地域コミュニティの形成、醸成</b></p> <p>・上記、「43、45」とまとめて、緑花とし、具体例で書き分けた方がよいのではないか？</p>	
番号 40	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>51：オオガハスの魅力発信に係る人材の育成</b></p> <p>・地元密着型にするのであれば、小学生の理科・生活科の授業に組み込むなど、幅広い世代を対象に、学習（情報提供）の機会を増やした方がよいのではないか？</p>	

千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 41	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>52：オオガハスの魅力発信に係る取組の充実</b></p> <p>・オオガハス（古代ハス）を所有する自治体間でネットワークをつくるのはどうか？都市間で連携することで、イベント開催を分担する等、省力化を図るのはどうか？「古代ハス」で検索すると、埼玉県白岡市、埼玉県行田市、埼玉県川越市、群馬県富岡市、茨城県古河市などが見つかるため、それぞれの市でどのような取り組みをしているのか、まずは情報を収集し、共同（連携）する内容、個性として取り組む内容とを分けた方がよいと考える。</p>	
番号 42	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>53：花いっぱい市民活動の戦略的な展開（ガーデンツーリズム）の検討</b></p> <p>・上記、「43、45、50」とまとめて、緑花活動とし、具体例で書き分けた方がよいのではないか？</p>	
番号 43	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>54：緑花のお散歩マップの制作検討（再掲）</b></p> <p>・上記「43」とまとめて、地域ぐるみで緑花の推進を進めるのはどうか？</p>	
番号 44	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>55：緑と花の地域リーダーによる地域支援の検討</b></p> <p>・「緑と花の地域リーダー」自体の価値（地位）を上げるような取組も必要ではないか？例えば、特別な場所の緑化（花植え）活動を行う、リーダー間の勉強会の実施など、相談しても意味のある情報がもらえるかが、一般の方が心配にならないか。</p> <p>&lt;参考&gt; <a href="https://www.city.osaka.lg.jp/fukushima/page/0000487152.html">https://www.city.osaka.lg.jp/fukushima/page/0000487152.html</a>、<a href="https://www.kawasaki-green.or.jp/classroom/greening-leader">https://www.kawasaki-green.or.jp/classroom/greening-leader</a></p> <p>※関西（大阪）では、「緑化リーダー」がなんばパークスの花植えを手伝うなど、特別感を演出していると聞きました。</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 45	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>56：地域を彩る花壇づくりの普及啓発方策の検討</b></p> <p>・55のリーダーを活用した取組にブラッシュアップしてはどうか？（55と56をひとまとめにして、事例で書き分ける）</p>	
番号 46	菊池 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>57：千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心における花のふれあい道づくりの充実</b></p> <p>・ネーミングライツやクラウドファンディングなどを導入してはどうか？福祉施設や、有名なガーデンデザイナーの活用、管理の省力化が期待できる花壇（ナチュラルスティックガーデン）の導入なども考えられる。ナチュラルスティックガーデン：<a href="https://engei.com/gardening/uk-gardening-report/5459/">https://engei.com/gardening/uk-gardening-report/5459/</a></p> <p>※熊本市では、桜町バスターミナル周辺で取り組まれているようです （<a href="http://hirahira.sakura.ne.jp/hirahiranihon16/2020/06/21/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E3%81%AE%E8%A1%97%E4%B8%AD%E3%81%A7%E3%82%AC%E3%83%BC%E3%83%87%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%83%96%E3%82%92%E7%B5%90%E6%88%90%E3%81%97%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%A8/">http://hirahira.sakura.ne.jp/hirahiranihon16/2020/06/21/%E7%86%8A%E6%9C%AC%E3%81%AE%E8%A1%97%E4%B8%AD%E3%81%A7%E3%82%AC%E3%83%BC%E3%83%87%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%83%96%E3%82%92%E7%B5%90%E6%88%90%E3%81%97%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%A8/</a>）</p>	
番号 47	菊池 委員  永野 委員	<p>【花の空間】</p> <p><b>58：オオガハスを楽しめる環境の拡大に関する検討</b></p> <p>（菊池委員）</p> <p>・上記、「52」とまとめて、本市（千葉市）単体で行うのではなく、ネットワークを検討した方がよいのではないか？</p> <p>（永野委員）</p> <p>・希少価値が希薄化しないよう本物は限定栽培とし、PRは別にしてはどうか。</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 48	菊池 委員	<p>【空閑地】</p> <p>60：空閑地の暫定利用に向けた仕組みづくり</p> <p>61：チバニワとしての空閑地の活用</p> <p>62：都市スポンジ化対策としての空閑地の活用</p> <p>・そのような取組み（チバニワ）に取り組んでもらえるような民間企業の誘致など、情報発信が必要ではないか？</p>	
番号 49	菊池 委員	<p>【農地】</p> <p>63：拠点施設の活用による農の魅力発信</p> <p>・加工（飲食）も含めた6次産業化を進め、その上で、農の魅力を発信した方がよいのではないか？</p>	
番号 50	田所 委員	<p>【農地】</p> <p>63：拠点施設の活用による農の魅力発信</p> <p>64：農地：直売所・観光農園の利用促進</p> <p>67：農地：太陽光発電下での農業技術支援の検討</p> <p>・農業の生き残りのためには農業の第6次産業化や営農型太陽光発電導入等でエネルギーの自給を図り営農方法の近代化を促進する必要がある。</p> <p>資料2の市民意見に「有機農業の普及や除草剤の規制」がある。生物多様性は著しく失われており、農業の規制強化も必要である。</p>	
番号 51	菊池 委員	<p>【農地】</p> <p>64：直売所・観光農園の利用促進</p> <p>・タイトル（施策名）と具体例が同じなので、何をするかかわからない。</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押田副会長コメント：農地63と64の取組の統合を検討してほしい。利用促進のための、積極的なPRを。</p> </div>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 52	菊池 委員	<p>【農地】</p> <p><b>67：太陽光発電下での農業技術支援の検討</b></p> <p>・ソーラーシェアリングという言葉（協会）があるので、それを使った方がよいのでは？具体的な内容についても、紹介されていることから、具体例の部分でも、その内容を参考にした方がよいと考える。 ソーラーシェアリング：<a href="https://solar-sharing.org/">https://solar-sharing.org/</a>、 <a href="https://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/einou.html">https://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/einou.html</a></p>	
番号 53	菊池 委員	<p>【農地】</p> <p><b>68：市民農園の開設促進</b></p> <p>・タイトル（施策名）と具体例が同じなので、何をするか分からない。市民農園が少ないのは、開設に向けた見えない課題があるからではないか？25とあわせて、市民が農（植物）と触れ合う機会を増やすための施策として位置づけてはどうか？また、民間企業を誘致するなど、行政、市民にとって、市民農園を開設することのメリットが伝わるような表現が必要ではないか？</p>	
番号 54	田所 委員	<p>【農地】</p> <p><b>68：市民農園の開設促進</b> <b>69：街なかの農地保全の推進</b></p> <p>・住民が家族ぐるみで農業できる市民農園の拡充が必要である。</p>	
番号 55	菊池 委員	<p>【農地】</p> <p><b>70：優良農地の保全の推進</b></p> <p>・タイトル（施策名）と具体例が同じなので、何をするか分からない。</p>	



千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 56	菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>71：森林環境税（森林環境譲与税）を活用した森林の管理の促進</b></p> <p>・林野庁で公開している資料を基に、具体例をもう少しかみ砕いた表現にした方がよいのではないか？納税側に対しても、どのように使われるのかを明示するためにも、必要と考える。</p> <p>&lt;参考&gt; <a href="https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/attach/pdf/torikumizyoukyou-7.pdf">https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/kankyousei/attach/pdf/torikumizyoukyou-7.pdf</a></p>	
番号 57	田所 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>71：森林環境税（森林環境譲与税）を活用した森林の管理の促進</b></p> <p><b>72：市民が立入れる林地環境の拡大の検討</b></p> <p><b>75：市有施設における木材利用</b></p> <p>・里山は殆どが私有林になっている。しかし山主は里山管理を放棄し、荒れ放題になっていることが多い。里山を江戸時代のように共有地化（ナショナル・トラスト等）する手立てを考えるべきではないか。「小倉の森」等の市有地をプレーパークやキャンプ場設置で市民利用活用を図ってほしい。</p>	
番号 58	菊池 委員  相澤 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>72：市民が立入れる林地環境の拡大の検討</b></p> <p>（菊池委員）</p> <p>・地域交流を目的とするのであれば、活動内容に歴史・文化の内容を取り入れた方がよいのではないか？単なるイベントでは、谷津田や森林の重要性が伝わらない。谷津田や森林を保有して管理することの重要性や難しさもきちんと組み込まれたプログラム（イベント）を示した方がよいのではないか？（特に、不足している「生物多様性」については、人間の生活に密着した緑＝里地里山、谷津田、の重要性が指摘されており、その内容を拾えるようにした方がよい）</p> <p>（相澤委員）</p> <p>・市民緑地の保全活動をしている方が、「何かあったときの責任所在について、何の取り決めもないのが現状」と不安感を抱えておられたのを思い出します。人材育成と同時に、担い手が安心して活動できる仕組みづくりを盛り込んだ方がいいと思います。</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 59	菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>73：谷津田保全の安定性を高める方策の検討</b></p> <p>・ OECM認定を検討されてはどうか？                      &lt;参考&gt; <a href="https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/">https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/</a></p>	
番号 60	田所 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>73：谷津田保全の安定性を高める方策の検討</b>  <b>74：谷津田保全地区や里山地区での保全の推進</b></p> <p>・ 谷津田も里山同様に耕作放棄地が多くなってきている。市民主体のナショナル・トラスト化する必要があるのではないか？</p>	
番号 61	菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>74：谷津田保全地区や里山地区での保全の推進</b></p> <p>・ 上記、「73」と似たような内容と読める。取りまとめた方がよいのではないか？あわせて、民間企業によるサポーター制度（ネーミングライツや社会貢献活動）の場としての活用を考えてはどうか？</p>	
番号 62	菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>75：市有施設における木材利用</b></p> <p>・ 遊具やおもちゃなど、身近な場所での活用や、ふるさと納税をした際の返礼品にするなど、活用場所を広くした方がよいのではないか？また、木材利用の一つとして、工芸やクラフトなどのPRイベントを開催し、認知を広めることも大事ではないか？                      ※そのあたりは、埼玉県飯能市（西川材）の事例がよいかもしれません。</p>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 63	安立 委員  菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>76：樹木の生育基盤となる土壌環境（土中環境）の改善</b></p> <p>（安立委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（土中環境）は不要なので削除をお願いします。</li> </ul> <p>（菊池委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷津田、森林だけではなく、市内の緑地で、積極的に導入した方がよいのではないか？特に公園の緑化樹木など、根系に問題があり、枝先にその障害があらわれている例があることが予想される。</li> </ul>	
番号 64	菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>77：緑と水辺の骨格における緑地保全の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域のグリーンインフラとして位置づけて、保全に取り組んだ方がよいのではないか。</li> </ul>	
番号 65	菊池 委員	<p>【谷津田・森林】</p> <p><b>78：都市計画制度等と連携した郊外の緑保全の可能性の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記、「48、49」と関連付けてはどうか？市域全体として、グリーンインフラを導入するという視点からも、「緑保全」ではなく、「グリーンインフラ」という語を使った表現にした方がよいのではないか？</li> </ul>	
番号 66	菊池 委員	<p>【共通事項】</p> <p><b>80：「ちばレポ」による緑と水辺の課題解決の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちばレポによる課題解決の成果は、どこかで公開されているのか？</li> </ul>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 67	田所 委員	<p>【共通事項】</p> <p>82：緑と水辺のまちづくりに関わる多様な主体の支援、発掘</p> <p>83：情報発信の充実／行政資料のデジタル化</p> <p>85：大学等の研究機関や事業者との連携による 緑と水辺に関する調査や社会実験</p> <p>86：緑と水辺のステークホルダーとの意見交換を交えた 地域課題への対応を探る取組の検討</p> <p>・本計画の主体は地域住民であり、そのためには利害関係者協議の場であるスマートシティ・官民プラットフォーム設置が必須課題である。</p>	
番号 68	相澤 委員	<p>【公園】【谷津田・森林】</p> <p>・病木（今はナラ枯れが酷いですよね）に対する対応と、その補填（植林など）はどこかの項目に入りますか？</p>	
番号 69	相澤 委員	<p>（取組全体）</p> <p>・「子ども」という単語が2回しか出てこないことに驚きました。</p> <p>親子参加という意味では何度も登場していると思いますが、それはあくまでもお金のかかるアクティビティであり、日常性のあるものではないのかと感じました。イベントの拡充だけでなく、日常的に街路を歩き公園へ行く子どもたちに目を向けたまちづくりプランとすることが、次代に繋ぐことなのかと思いました。</p>	
番号 70	安立 委員	<p>（取組全体）</p> <p>・全体的に少し施策の量が多いように感じました。重要な案件がたくさんあるということだと思うのですがもう少し絞っても良いかと思います。</p> <p>・短期で解決出来そうなものについては取り組む予定の年度を記載しても良いかと思いました。</p> <p>押田副会長コメント：取組の時期は、ある程度幅を持たせてもよいので、バーチャートのような表示を検討してほしい。</p>	<p>○</p> <p>後半の ご意見を 議論する</p>

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組み番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 71	<b>長岡 委員</b>	<p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の案内付きで、委員会のメンバーで具体的な場所をいくつか視察できないか。検討してほしい。</li> </ul>	

千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023素案の位置付ける施策の方向性に対する意見のまとめ

番号	委員名	ご意見（太字部分の取組番号は本市が記載） ※ 長岡委員はレク時のコメント、□枠内は押田副会長のコメント	当日の取扱い （○議論する）
番号 72	永野 委員	<p>（複数の取組みに跨るもの）</p> <p><b>【海辺】</b></p> <p>1：海辺（ビーチエリア）の積極的な魅力発信</p> <p>2：海辺の魅力を活かしたイベントの充実</p> <p><b>【川辺】</b></p> <p>11：川辺の良さを実感できるアクティビティの充実</p> <p>13：川辺の魅力向上に資する公共空間再編の検討</p> <p><b>【公園】</b></p> <p>18：プレーパーク開催の促進</p> <p>27：複数公園の包括的な管理・運営の検討</p> <p>31：土地区画整理事業地内での公園用地の整備推進</p> <p>34：スポンサーベンチ制度（仮称）の検討</p> <p><b>【花の空間】</b></p> <p>52：オオガハスの魅力発信に係る取組の充実</p> <p>53：花いっぱい市民活動の戦略的な展開 （ガーデンツーリズム）の検討</p> <p>55：緑と花の地域リーダーによる地域支援の検討</p> <p>58：オオガハスを楽しめる環境の拡大に関する検討</p> <p>59：スポンサー花壇制度の運用検討</p> <p><b>【谷津田・森林】</b></p> <p>72：市民が立入れる林地環境の拡大の検討</p> <p><b>【共通事項】</b></p> <p>82：緑と水辺のまちづくりに関わる多様な主体の支援、発掘</p> <p>83：情報発信の充実／行政資料のデジタル化</p> <p>・千葉県には良い要素が膨大にあるがそれらをうまく伝えることができていないという課題がある。海辺とオオガハスを市のアイデンティティと捉えるならばこれらを本計画のアイコンに昇華し緑と水辺のある海浜都市としてのブランディング・PRの象徴に据えてはどうか。一企画例を示す。</p> <p>1）蜜蝋など自然に還る素材でオオガハス型の蠟燭を作り販売。収益は環境整備に還元。</p> <p>2）黄昏にハスの蠟燭に火を灯して水面に流し誰かや何かを想う市独自の文化を創出。</p> <p>3）海辺の西風が止み谷津田に水が入る春これから始まる音と色の季節を祝して市民が各地で同時にハスの灯火を水面へ流す。例えば花見川区では花見川に。若葉区では谷津田に。緑区では水の郷公園に。稲毛区では浅間神社で薪能を。中央区では街を流れる都川に。美浜区では検見川の浜に。各区の特色を活かし水辺への親しみを生みながら区割りを越えた市全体の一体感を幻想的な情景と共に創出。千葉市の環境を美しく魅せバズを生む。転入・日帰り観光等を見据えた対外的なブランディングにも活かす。</p>	

新たな計画のテーマ／サブテーマに対する提案のまとめ

No	委員名等	ご提案（【】の中身は本市が記載）	当日の取扱い
番号 1	菊池 委員	<p>テーマ：次代に引き継ぐ都市アイデンティティ サブテーマ：多世代が歩きたくなる暮らしやすい都市</p> <p>テーマ：多世代で担う緑と水辺の都市 サブテーマ：縄文から令和、そしてインクルーシブな社会に向けて</p> <p>テーマ：ウォーカブルで暮らしやすい健幸（けんこう）な緑と水辺の都市 サブテーマ：オオガハスの咲くまちを次代に</p>	<p>○</p> <p>3番のテーマ／サブテーマの披露を</p>
番号 2	永野 委員	<p>テーマ：千の緑と水辺が人の暮らしを包む海浜都市 サブテーマ：～縄文から続く住みやすさ日本一の地を、未来へ繋ぐ～</p> <p>&lt;テーマ表現に組み込んだ要素・要件・差別化ポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海と川と緑地帯が市街地の周縁を包み込むようにある千葉市の地理的特徴を表現</li> <li>・人が中心にいる、1000箇所の公園と共にだから心地よく住みやすい</li> <li>・まちでなく都市と表現（水と緑のまちは沢山ある。都市だからこそその価値に着目）</li> <li>・世界屈指の大都市圏内にありながら砂浜と豊かな（千の）緑地があるという稀少性</li> <li>・古来多様な移住者を受け入れてきた千葉市らしい受容力（房総の温かい気風）</li> </ul>	<p>○</p> <p>テーマ／サブテーマの披露を</p>
番号 3	田所 委員	<p>テーマ：市民主体の千葉市緑と水辺のまちづくり共創プラン （そのためには「補完性の原理」を導入する。）</p> <p>当該計画の主体は市民を中核とした「かかわる人々」である。 そのためには利害関係者協議の場である「スマートシティ・官民プラットフォーム」（仮称）の早急な設置が必須である。</p>	
番号 4	事務局	<p>テーマ：緑と水辺が人々をつなぎ、健やかなコミュニティが育まれるまち・ちば サブテーマ：～縄文から続く住みやすさ日本一のまちを次代に～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて、豊かな緑と水辺は、本市の特徴であるとともに、そうした場があることによって、地域の人々が引き付けられ、人々の心身を健やかにします。グリーンインフラとしての緑と水辺によって、健やかなコミュニティが育まれるまちを標榜するものです。</li> <li>・サブテーマについて、現計画で位置づけているものを長期的なテーマとして引き継ぐものです。</li> </ul>	<p>○</p> <p>テーマ／サブテーマの説明</p>

新たな計画のテーマ／サブテーマに対する提案のまとめ

No	委員名等	ご提案（【】の中身は本市が記載）	当日の取扱い
番号 5	安立 委員	<p>(キーワード)</p> <p>・「自然と共生」などの意味が入ると良いかなと思いました。</p>	
番号 6	菊池 委員	<p>(キーワード)</p> <p>・次代に引き継ぐ／緑と水辺の都市／都市アイデンティティ／アーバンビーチ／オオガハス／新たな担い手／多世代／インクルーシブ／ウォークアブル／リバブル／</p>	
番号 7	松浦 委員	<p>(キーワード)</p> <p>・「住みやすさ日本一」について「日本一」にこだわる理由がよく分からない。例えば、東洋経済の「住みやすさランキング2021」の総合1位は石川県野々市市である。</p> <p>・例えば、市民にとっても来街者にとっても居心地の良い都市を目指すなら、「住みたいまち・訪れたいまち」といったキーワードで良いのでは？</p> <p>・例えば、「縄文より続く 住みたいまち・訪れたいまち を次代に」はどうでしょう？</p>	
番号 8	西田 委員	<p>(キーワード)</p> <p>テーマについて、'ストックという言葉がなかなか私自身には、馴染みがよくないように感じています。</p> <p>居心地がいい 心地よい こちよい といった、やさしい言葉で、表現できないかな、と思いました。</p>	